

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほしぞら		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		～ 2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童への理解や活動内容に関して満足していただけている	能力別、年齢別にその日の児童の振り分けを行っている。 その日の様子を簡単にはあるがお伝えしている	児童に合わせた活動を行うことができるように、事前の活動内容を職員間で話し合い、準備を早めに行う。急ぎよ参加した児童がいた場合でも、臨機応変に活動内容を変えられるように、活動内容のストックを常に準備しておく。
2	生活空間がきれいに保たれている	定期的な清掃を行っている	カーペットやおもちゃなど、清掃に時間がかかるものをいつやるかを明確にして、日々の業務に取り組んでいく。
3	事故やケガ等への対応や対策を早急に行っている	家族への管理者からの説明、事故に対する見直しを行っている	起こった事故を職員全員へすぐに周知し、再発を防ぐようにしていく。日々の活動で危ないと思ったことは会議等で報告し、事故を未然に防ぐように心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数が多いことにより、実働で入る職員の数が他の事業所よりも必要であること。	経験の多い職員の不足、部屋数の多さ	日雇いの就業者の勧誘による従業員の確保、児童数と能力に合わせた活動部屋の使用の調整
2	AMから支援に入る職員とPMから支援に入る職員との情報共有が難しいこと。	就業時間が分かれてしまうことに要る情報共有の不備	AM児発の縮小、パート職員での支援回しを行い、職員の会議参加率を増やす。実働に入ってくれているAM児発の職員へはAM担当職員による情報共有を行う。
3	経験の短い職員が多く、支援の方法に不安を持っていること。	経験者の退職による指導者の不足、研修等での勉強不足	会議等で障害に関する勉強会や外部の研修への参加、PCを使用した動画研修を見ることによって、個人のスキルアップをしていく。